

管理所レビュー VOL.10

(H30.9.6 水源林管理所)

8月24日(金)～25日(土)に予定していた宿泊活動は、台風20号の影響で入村が遅れたため、24日(金)の間伐作業を断念し、25日(土)のみの活動となりました。皆様、大変お疲れ様でした。

今年は台風が多く発生していますが、テレビなどの報道によると、7月、8月に台風が多く発生した年は、9月にも台風の発生が多いそうです。

今後接近する台風やゲリラ豪雨などの情報に十分注意し、安全に活動を実施しましょう。

それでは、安全活動のための水源林管理所の振返りなどをお知らせします。

1 32名のご参加、ありがとうございます。



台風一過の晴れ間となりました。



飲み物の準備も忘れずに！



しっかり体を伸ばしましょう。

2 作業の様子とワンポイントアドバイス。



水量が増した作業地内の小沢。



切離し時の丸太の落下に注意。



間伐が進み、上空が空いた林内。



目線は伐倒木、足元は注意。



枝払いも注意して。



補助ロープを使って安全に。



かかり木には、木回しを。



安全に伐倒する事ができました。



夏はコレ！現地指導員からの差し入れ。

3 ツルの役割について。

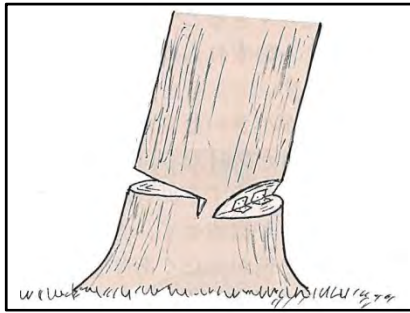
伐根を確認した時、受け口と追い口の間に残されている部分を「ツル」といいます。

「ツル」は、木が倒れる時に曲がりながら引きちぎれ、その時の抵抗で倒れる速度を調整し、蝶つがいの働きが伐倒方向を確実にします。

伐倒方向を確実にするためには、ツルを十分に機能させることが重要です。追い口の切り込みは、「ツル」が有効に働くまでの深さとし、切り足りないときは修正の切り足しを行ない、決して切り込み過ぎないように注意してください。

〔ツル〕の働きは次のように要約されます。〕

- ① 伐倒方向を確実にすること。
- ② 伐倒する立木の安定を保つこと。
- ③ 伐倒木の倒れる速度を遅くすること。



「ツル」は蝶つがい。



「ツル」の機能が十分に働いた状態。

〔伐木造材作業員必携より一部抜粋〕

※ 立木を目標とする方向に安全に確実に倒すためには、ツルの働きを理解し、ツルを正しく残すことが大切です。ツルは切り過ぎても残し過ぎても危険です。特に大径木では、立木の状況に応じた正しいツルを作り、機能が十分に働くようにしましょう。

4 小径木の搬出について。

間伐作業終了後の小径木の搬出、ありがとうございました。

小径木は、林内の道作りやイベントでの丸太切り体験などに使用します。

〔小径木作製時、運搬時の注意点〕

- ① 小径木の枝は、枝払いの基本同様に幹と平らになるようにキレイに切ってください。
- ② 小径木とはいえ、切りたての丸太は水分を含んでおり、思いのほか重量があります。運搬時には、転倒しないよう足元に十分注意してください。
- ③ 搬出場所は、2, 3班が救急箱とAEDの設置場所付近。1班と4～9班がレンタルトイレ付近となっています。



運搬時は、足元に注意！



搬出場所からは、職員が運びます。

※ 9月8（土）は、曇りのち晴れ、最高気温27度、降水確率10%の予報となっています。

※ 出発前には、最新の天気予報をご確認ください。

★それでは9月8日、気をつけてお越しください。